

循環型林業技術ガイドライン

伐る・使う→植える→育てる

獣害対策版



令和元年度循環型林業施業地付近（令和3年5月センサーカメラで撮影）
場所：豊田市内

令和4年3月



目次

1. 獣害対策の必要性	03
2. 手法や資材を選ぶポイント	04
3. 動物の侵入パターン	05
4. 愛知県の獣害防止柵の標準仕様	06
5. 獣害防止柵の設置	07
(1) 設置手順	07
(2) 作業時のポイント	08
6. 維持管理	17
7. 現場の声	19

1. 獣害対策の必要性



地域の獣害の状況に合った防除策を講じましょう。

- 獣害による苗木への被害は各地で深刻化しており、植栽地の成林を阻害する大きな要因です。植栽地が無事に森林になるかどうかは、獣害対策にかかっています。
- 影響のある動物・獣害の程度は地域により違うため、野生動物の分布状況等に合わせた適切な防除策を選び、実施しましょう。

注意すべき野生動物とその被害の特徴

ニホンジカ	カモシカ	ノウサギ	ハタネズミ等
<p>＜被害木の状態＞</p>		<p>＜被害木の状態＞</p>	
<p>＜被害の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の先端や柔らかい部分をこし取ったようになり、軸が残る。剥皮被害もある。 ・成長点が食べられると今後の成長や樹形への影響が大きい。 ・全て食べられてしまうこともある。 		<p>＜被害の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刃物で切ったような切り口。 ・苗木の主軸や枝が切り落される。 ・葉がすべて切られ、主軸だけになることもある。 	
<p>＜被害の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に苗木主軸の地際部がかじられる。 ・たくさん被害が発生すると、茶色に枯れた木が点在する。 			

獣害対策ネットに対する被害

イノシシ	＜被害の状況＞	＜被害の特徴＞
		<p>＜被害の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗木は食べない。 ・通り道に獣害対策ネットがあると壊す（穴をあける）。⇒その後シカが入る！ ・獣害防止柵の下から潜り込み、地面との隙間を開ける

ニホンジカ等の分布の確認方法

- ① 動物の食痕、足跡、糞が事業地やその周辺にあるか確認
- ② 事業地近くに住む人に聞く
→地元の方が「シカを見る」と言われれば、獣害対策は必須です。
- ③ 「第二種特定鳥獣管理計画(ニホンジカ、イノシシ、カモシカ)」で「(2) 現状及び課題 ア 生息状況①分布域」を確認しましょう。
→愛知県環境局が公表しています。
- ④ シカ情報マップ (<https://shikadoko.animalenq.jp/g23028>)
→シカの目撃情報や被害情報をスマートフォン等で報告し、地図上に表示するシステム。情報はリアルタイムで地図上に更新され、過去との比較も可能です。

ニホンジカの痕跡 (糞と足跡)



愛知県環境局
シカ情報マップ
(P19 参照)



2.手法や資材を選ぶポイント



対象動物、設置場所の地形を考えて手法・資材を選びましょう。

- 何の被害を防ぎたいのか、事業地の広さ・位置関係、費用対効果を考えて、適切な手法・資材を選びましょう。維持管理には費用がかかることを所有者に伝えましょう。
- 資材の素材・タイプは多様です。メリットとデメリットをを考えて選びましょう。
- 補助金等の助成を受ける場合は、資材が補助対象の規格かを確認しましょう。

獣害対策資材の種類と特徴

種類	獣害防止柵	単木ガード	忌避剤
対象	植えた区域を面的に保護	植えた木を個々に保護	植えた木を個々に保護
費用対効果	まとまった面積に効果的。面積が広いほど、侵入に備え中仕切りが重要。	小面積（道沿い、飛び地）、低密度に有効。	安い、数カ月で塗り直しが必要。塗布後に伸びた新芽の保護はできない。
設置状況			

対象動物に応じた対策

対象	ニホンジカ・カモシカ	ノウサギ	ハタネズミ等
対策候補	獣害防止柵 背丈の高い単木ガード 忌避剤	5cm目以下の獣害防止柵 目の細かい単木ガード 忌避剤	板状やメッシュの 単木ガード 殺鼠剤

獣害防止柵の素材・タイプ

素材	ポリエチレン	ポリエチレン (強力繊維入り)	ポリエチレン (ステンレス入り)	金網 (鉄線/亜鉛メッキ/ 鉄/ステンレス)
柵の高さ	1.5m・1.8m・2.0m			2.0m
網目	5cm目・10cm目			5~15cm
潜り込み防止	なし・スカート別・スカート一体			-
支柱	1本式・セパレート式・杭加工した丸太・立木利用			-

単木ガードの素材・タイプ

高さ	0.7m・1.4m・1.8m
直径	15cm・30cm、製品によっては任意サイズも可能
形質	格子状（硬質）・網状（やわらかい素材）・板状、生分解性・非生分解性
支柱	1本・2本

3.動物の侵入パターン



動物の侵入パターンを把握し、侵入を許さない気持ちで、
獣害防止柵の設置をしましょう。

- 動物が柵内に侵入してくる経路として、大きく3つのパターンがあります。

① 柵の上部からの侵入（飛び込み、乗り越え）



▲シカの侵入した痕跡がみられる施工地



- ・飛び込み、柵にのしかかって乗り越える等の方法で、柵の上側から侵入します。
- ・シカの場合、1.6m以下で乗り越えが起きると言われています。

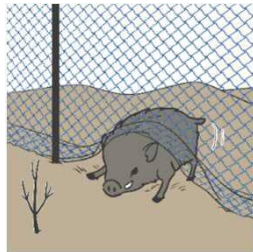
〈対策のポイント〉

- ネット上部の弛みを作らない！
- 高い切り株等、乗り越えの足場となるものを作らない！

② 柵の下部からの侵入（潜り込み）



▲アンカー杭が外れ、大きく開いた隙間

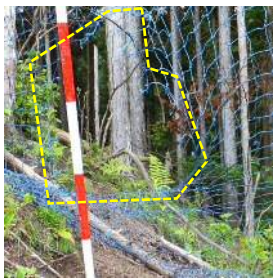


- ・動物が裾を持ち上げたり、浮き上がり等でアンカー杭が外れることにより、ネットの下部にできた隙間から侵入します。
- ・裾が20cm程度浮いてしまうと、シカ等の侵入を許す可能性があります。

〈対策のポイント〉

- 柵と地面の間に隙間を作らない！

③ ネット部分に開いた穴や隙間からの侵入（すり抜け）



▲ネットに大きく開いた穴



- ・動物の食いちぎりや落石の直撃等により開いた穴や、ネットのつなぎ目の処理が甘いことにより生じた隙間から侵入します。
- ・直径20cm程度の穴が開けば、シカも頭を入れて侵入可能です。

〈対策のポイント〉

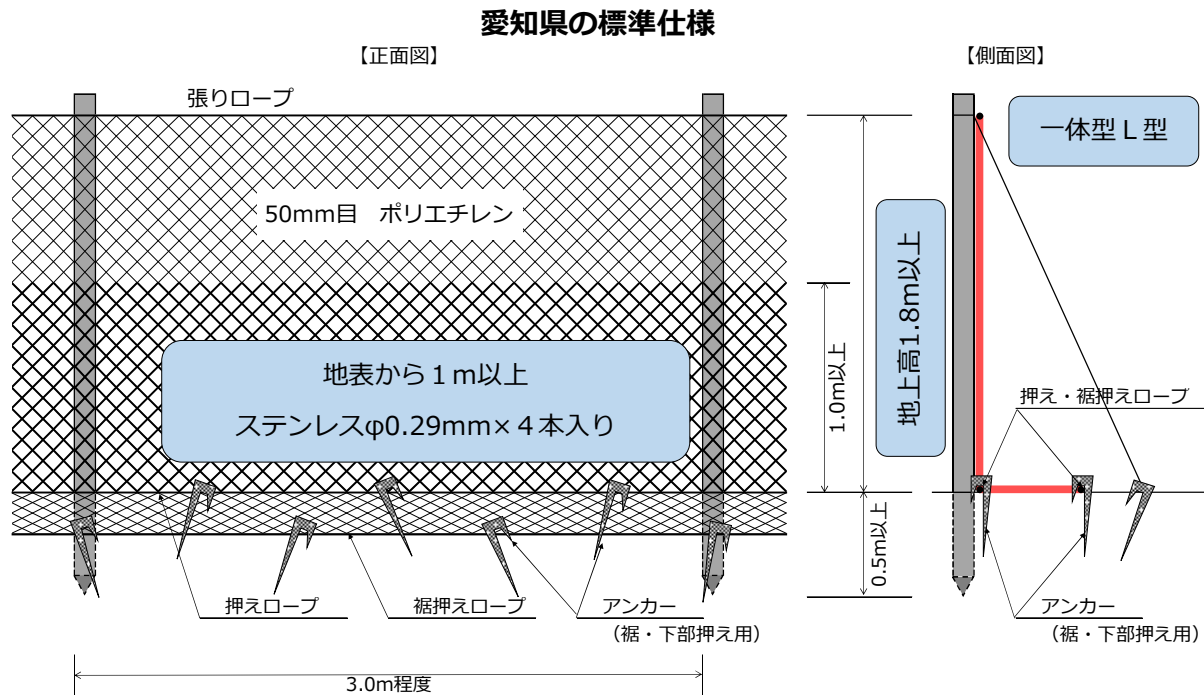
- 網と網の間に隙間を作らない！
- 穴を見つけたらすぐに塞ぐ！

4.愛知県の獣害防止柵の標準仕様



動物の侵入の傾向から愛知県の獣害防止柵の標準仕様を定めました。

- 乗り越えを防止するため、柵の高さは**1.8m以上**とします。
- 下部からの潜り込みを防止するため、**裾はL字型**に折り返してアンカーで固定します。
- 動物によるネットの穴開けを防止するため、地表から1m以上のネット繊維を**ステンレス(φ0.29×4本)**で補強します。



設置状況



※令和4年3月時点の仕様です。最新の仕様は県WEBページ等で確認してください。
URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinrin/0000005727.html>

5. 獣害防止柵の設置 (1) 設置手順



設置前に一連の手順を確認し、段取りよく設置しましょう。

STEP 01	事前準備 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 森林所有者と出入口、中仕切りの設置の相談をしましょう。<input type="checkbox"/> 事業地周辺の枯れ木等、倒れそうな木は除去しておきましょう。<input type="checkbox"/> 資材は早めに発注しましょう。
STEP 02	設置ラインの検討 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 岩盤、沢筋、急斜面の直下を避けましょう。<input type="checkbox"/> シカの踏み台となる切り株・岩等の近くを避けましょう。
STEP 03	資材運搬 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 事前に効率的な資材の運搬計画を立て、省力化を図りましょう。
STEP 04	支柱打ち込み <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 支柱は地面の傾斜に関わらず鉛直に打ち込みましょう。<input type="checkbox"/> 支柱は地形の傾斜変化点に設置しましょう。
STEP 05	ネット展開 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 先にロープを伸ばしてからネットを展開しましょう。<input type="checkbox"/> 支柱キャップにロープを仮掛けしながら、末端に向かって順に伸ばしましょう。
STEP 06	支柱とネットの固定 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ネットの張りすぎ、弛みすぎに注意し、網目が正方形になるよう調節しましょう。<input type="checkbox"/> 結束資材で支柱とネットを固定しましょう。
STEP 07	裾の固定 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 各ロープごとにおおむね1m間隔で交互にアンカーを打ち、押えロープが浮かないように注意しましょう。
STEP 08	支柱控えロープ設置 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 折れ点、地形の変化点等には支柱控えロープを設置しましょう。
STEP 09	出入口の設置 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 見回り、下刈り等の作業がしやすい位置に出入口を設置しましょう。

5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

STEP 01

事前準備



森林所有者と出入口、中仕切りの設置の相談をしましょう。

- 森林所有者が普段歩く道、植栽や下刈り時に通る道に出入口を設置するとその後の管理が楽になります。
- 出入口がいくつ必要かを確認しましょう。作り方次第では支柱が余分に必要です。
- ネットのつなぎ目が出入口になるよう計画すると、設置作業が楽になります。
- 面積が大きい場合等は、中仕切りの設置を検討すると良いです。
- 中仕切りにも出入口は必要です。

現地での出入口位置の確認



事業地周辺の枯れ木等、倒れそうな木は除去しておきましょう。

- 事業地周辺の枯れ木は、強風等で倒れるとネット等の破損の原因になるため、設置前に伐っておきましょう。
- 森林所有者が違う場合は、事前に許可を得ましょう。
- 枯れ木の伐採は落枝等の危険を伴うため、十分注意しましょう。
- マツやナラ類の枯れ木による破損が多いです。

倒木によるネットの破損



資材は早めに発注しましょう。

- 早めに資材メーカーに連絡を入れましょう。概ねの延長が分かり次第連絡して資材を確保し、延長が固まり次第、再度連絡を入れて調整しましょう。
- 資材は少し多めに注文しておきましょう。測量距離での発注では、地形に合わせて設置していくと、1~2割程度ネットが足りなくなることがあります。
- 資材が届いたら、必要量があるか確認します。不足があればメーカーへ連絡しましょう。
- 必要な道具（支柱を打つ道具、ハンマー、ワイヤーカッターやハサミ）を準備します。
- 支柱は、打ち込み深さ(0.5mライン)をスプレーでマーキングしておきましょう。
- ロープがネットに通っていない製品の場合、ロープを通します。値段は上がりますが、ロープを通してあるネットを注文すると作業が楽です。現場でロープを通してある最中に絡まると、ほどくのは大変です。



5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

STEP 02

設置ラインの検討



岩盤、沢筋、急斜面の直下を避けましょう。

- 岩盤上では裾を固定できず、沢筋では土砂礫が溜まり損壊の原因となります。
- 斜面直下では崩土や落石によるネットの破損リスクがあります。また、斜面上部から野生動物が飛び越えて侵入しやすいので、注意が必要です。
- 迂回ができない沢筋では、対策を講じましょう。(P9参照)
- ネットの裾が所有地内に収まるようにしましょう。

岩盤上の設置による裾浮き



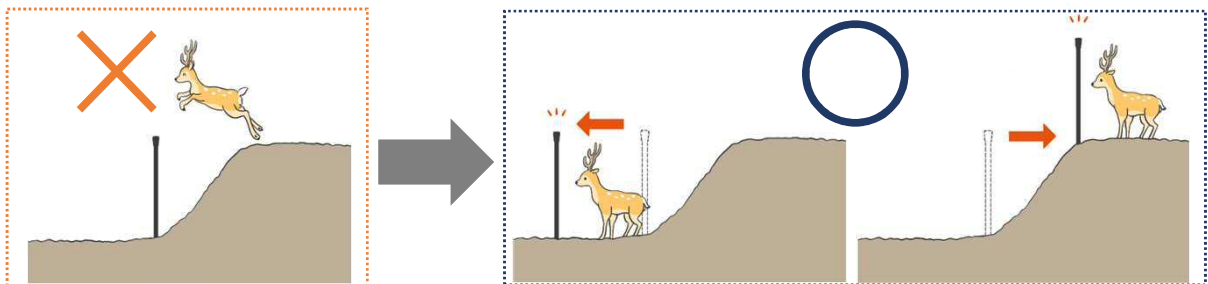
沢筋の土砂の堆積



斜面からの崩土による損壊

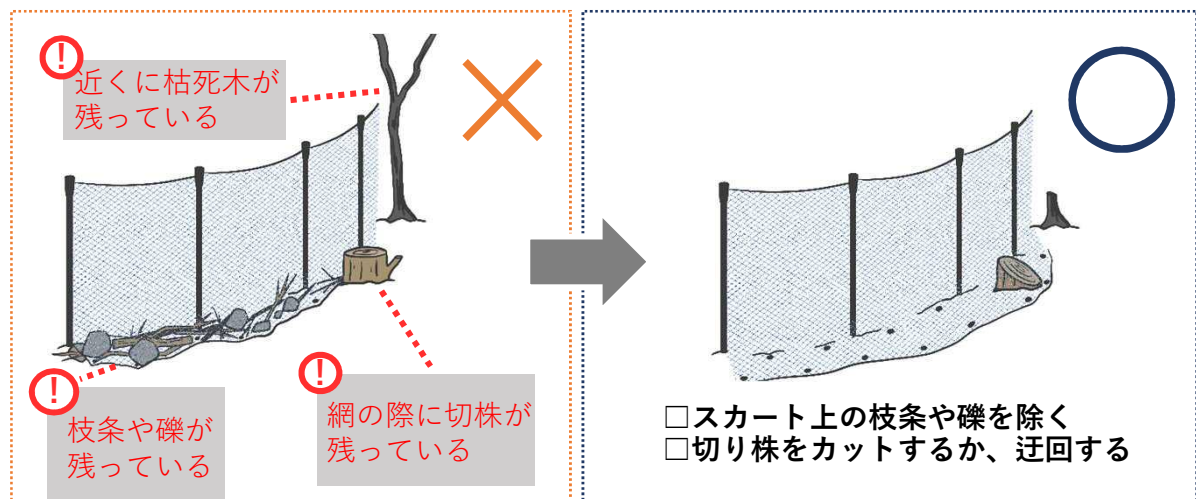


斜面の回避の例



シカの踏み台となる切り株・岩等の近くを避けましょう。

- 切り株、枝条及び礫の内側に支柱を設置すると、裾がうまく固定できないので、事前に除去しておきましょう。
- ネットの際に切り株が残っていると、動物が切り株の上に乗る、侵入しやすいので、除去するか、迂回を検討しましょう。



5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

(参考) 沢またぎへの対応例

- 獣害防止柵が沢をまたぐ場合は、沢の流れを阻害してネットが流されることや、流木等によりネットが破損することが想定されます。
- このような場合は、以下の例のような対策が必要です。

例1 大きい沢(常水)の場合



①支柱を増やして分離する



②沢の向きに沿って丸太を敷く



③沢の向きと直角に丸太を敷き、被覆番線等で押えロープと固定する



④完成

例2 小さい沢の場合



左写真のように、丸太を組み、支柱基礎で丸太を固定する方法もあります。

5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

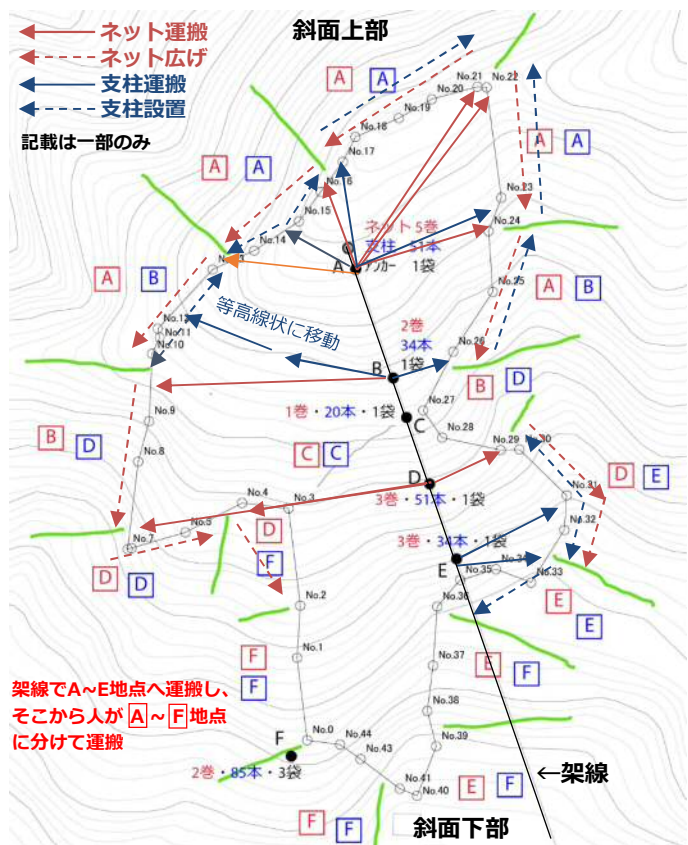
STEP 03

資材運搬



事前に効率的な資材の運搬計画を立て、省力化を図りましょう。

- ネットは重く、広げる時には引っ掛かるので、ネットは上から順に広げていく設置計画としましょう。
- 運搬に先立ち、ネットを張る位置に合わせて必要資材を点在させられるように、図面には、どこに、どれだけの資材が必要かメモしておきましょう。
- 主伐に使用した架線や機械を用いて斜面途中に必要な量の資材を運び込み、人力運搬は等高線に沿った方向のみになるようにすると作業が効率化できます。
- 架線・スイングヤードがある場合は、もっこ等を利用し、支柱やネットをまとめて吊って先山に送ります。
- フォワーダがある場合は、荷台に支柱やネットを載せて運搬します。なお、この場合、操縦に必要な特別教育・資格は「走行集材機械」ではなく、「不整地運搬」になるので注意が必要です。
- 林内作業車やドローンを用いて資材を運搬する方法もあります。
- 伐採事業者と造林事業者が異なる場合には、予め運搬方法を調整しましょう。



架線を用いた資材運搬



フォワーダを用いた資材運搬



ドローンを用いた資材運搬



5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

STEP 04

支柱打ち込み

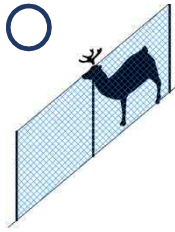


支柱は地面の傾斜に関わらず鉛直に打ち込みましょう。

×



○

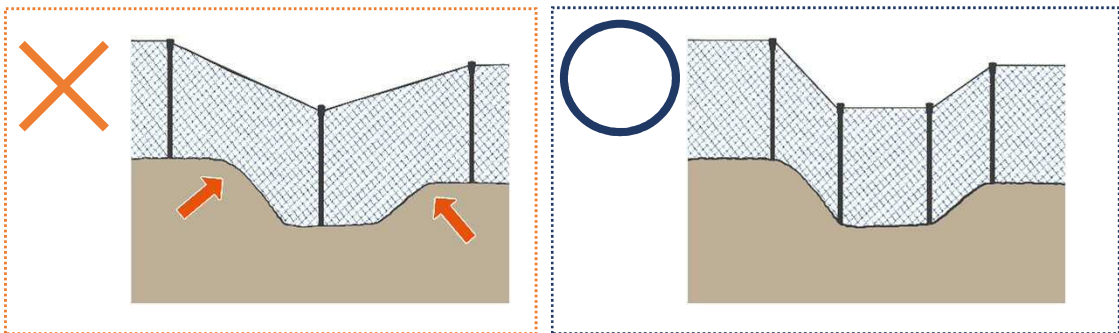


- 支柱は鉛直に打ち込みます。
- 傾けすぎると落石等で損壊しやすいため注意が必要です。



支柱は地形の傾斜変化点に設置しましょう。

- 支柱間に傾斜変化点があると、ネットの高さが確保できず、裾もうまく設置できません。
- 傾斜変化点に支柱を設置することが有効です。



手順 (セパレート式支柱の場合)



①



②



③



④

- ①ポール等で支柱間距離（3m程度）を測ります。
- ②支柱基礎をハンマーで打ち込みます。
- ③支柱基礎に沈み込み防止用のワッシャーをはめます。
- ④キャップを付けた支柱を基礎に被せ、完了です。

〈参考〉支柱と基礎が一体となった規格もあります。
専用の打ち込み器具が必要です。

【支柱基礎一体型】



5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

STEP
05

ネット展開



先にロープを伸ばしてからネットを展開しましょう。

- 最初にロープを末端まで伸ばすとその後のネットの展開がスムーズです。
- ネットは地表の枝等に引っ掛かりやすいので、しっかり持ち上げて展開しましょう。



支柱キャップにロープを仮掛けしながら、末端に向かって順に伸ばしましょう。

- 最初から全て支柱に固定してしまうと、後にロープの張り具合の調整ができなくなるため、仮掛けしながら順に伸ばしましょう。

手順



①

②

③

④

⑤

①始点側のロープ（短い方）を3本全て開始場所の支柱に仮結びします。

ネット中間位置もビニール紐等で仮止めします。

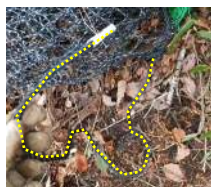
②末端側の全てのロープ（長い方）の結束紐をほどきます。

③末端側の全てのロープを絡まないよう注意しながら末端まで伸ばします。

④3～4人でネットを持ち上げ、末端に向かって順に展開します。

⑤張りロープを支柱キャップのフックに仮掛けします。

※ネットにロープを通していない場合は、通すところから始まります。



始点側のロープ

ネットから出るロープが短い



末端側のロープ

ネットから出るロープが長く、束ねられている



ネットの繋ぎ合わせ

・隙間がないよう、補修糸等で丁寧に縫います。

・20cm以上重ね幅を確保し、末端のロープで縫い合わせる方法もあります。

5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

STEP 06

支柱とネットの固定



ネットの張りすぎ、弛みすぎに注意し、網目が正方形になるよう調節しましょう。

- ロープを引っ張りすぎると裾が浮き、また衝撃を吸収する力も落ちます。
- 弛みすぎると高さが不足します。また、シカ等の動物にネットを噛みちぎられやすくなります。
- 張りロープが弛まない、押えロープが浮かない、ネットのしなりが維持される程度に設置しましょう。
- 慣れるまでは、支柱間の長さ分の網目数を数えながら設置しましょう。

ネットの張りすぎ



上はOK、下に隙間

ネットの弛みすぎ



下はOK、高さが足りない

適切

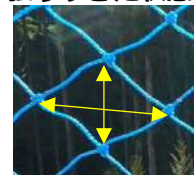


- ネットの目が正方形になることが目安の1つです。
- ただし、地形の影響等を受け、均一な長さにならない場合もあります。

適切な状態



張りすぎた状態



結束資材で支柱とネットを固定しましょう。

- ネットと支柱が離れないよう、下から1mの位置及び地際で固定しましょう。
- 結束資材には、耐久性のある耐候性結束バンド又は被覆番線を使いましょう。(耐久性の低い番線を用いると、早期の脱落や、ネットの破損に繋がります。)

手順



①



②



③



④



⑤

- ① 張りロープは弛んでいないか、押えロープに弛み及び浮きはないか確認します。
- ② 張りロープを摘まんで輪を作り、支柱キャップの穴に通します。
- ③ 通した輪を広げ、支柱キャップに巻きます。
- ④、⑤ 結束資材により、支柱の下から1mの位置及び地際を固定します。

5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

STEP 07

裾の固定

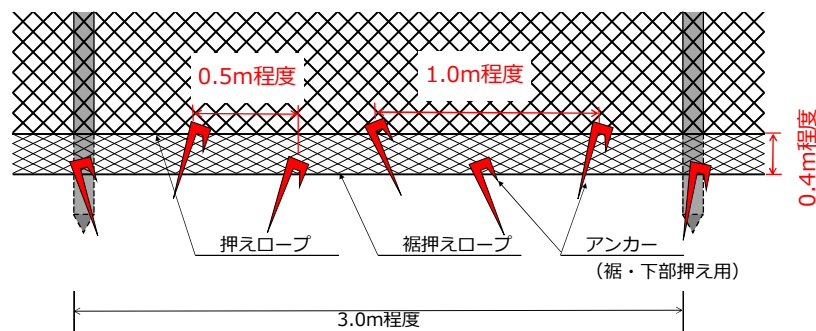


各ロープごとにおおむね1m間隔で交互にアンカーを打ち、押えロープが浮かないように注意しましょう。

- 動物は裾から潜り込み、柵内へ侵入する習性があります。
- 押えロープ、裾押えロープが浮かないよう、引っ張りながら杭を打ちましょう。
- 地形等により浮く場所があればアンカーを打ち増ししましょう。
- 枝条等の上から裾を設置すると、裾浮きの原因になります。必ず取り除きましょう。
- ロープは手で引っ張って浮くことがないよう、しっかり固定しましょう。
- アンカーは真上からだけではなく、「八」の字に打っていく等、1本ごとに打ち込み方向を変えると抜けにくくなります。



ロープの浮き



手順



①



②



③

- ① 裾のネットの幅40cmを確保し、押えロープ、裾押えロープを弛みなく伸ばします。
- ② 各ロープごとにおおむね1m間隔になるようにアンカーを仮置きします。
杭は、押えロープと裾押えロープで交互（0.5m程度の間隔）にします。
- ③ 始点側から順に、両ロープが浮かないよう引っ張りながらアンカーを打ち込みます。
アンカーには、ネットとロープの両方を掛けると良いです。

5. 獣害防止柵の設置 (2) 作業時のポイント

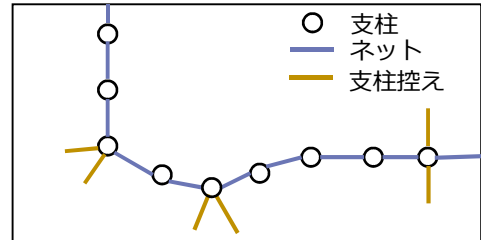
STEP
08

支柱控えロープ設置



折れ点、地形の変化点等には支柱控えロープを設置しましょう。

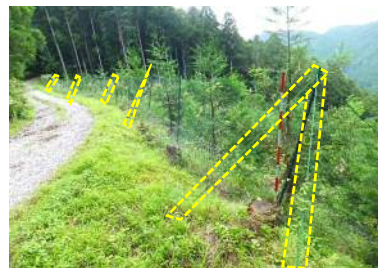
- 強風、落石等による支柱の倒壊等を防止するため、適宜支柱控えロープを設置しましょう。
- 支柱控えロープは、折れ点、地形の変化点、直線が続く箇所等について、支柱にかかる力の方向を考慮して設置します。
- 設置ラインの凹地では、支柱キャップが外れやすいので支柱控えロープで固定しましょう。



設置の例



折れ点への設置



傾斜地への設置



設置ラインの凹地

STEP
09

出入口の設置



見回り、下刈り等の作業がしやすい位置に出入口を設置しましょう。

- 設置後も見回りや下刈り等で頻繁に出入りすることから、その後の管理がしやすい位置に出入口を設置しましょう。
- どこに出入口があるか分かりやすくするため、ピンクテープ等で印を付けましょう。
- 扉の固定には、金属製チェーンや、針金を入れた樹脂製チューブを活用すると開閉が楽になります。(P18参照)



手順①



②



③



④



完成

- ① 出入口設置位置のネットをハサミで縦に切ります。
 - ② 切ったネットの片側を補修糸で支柱と結びます。
 - ③ ④ もう一方のネットの端に支柱を通し、補修糸で結べばカーテンのように開きます。
- ※ 裾は通常どおりアンカーを打ち固定します。

6.維持管理



獣害対策は、定期的な見回りが最も重要です。

- 年に1～2回、特に、台風や大雨の後は、必ず見回しましょう。
- 台風後の倒木など大まかな点検には、ドローン等新しい技術を活用し、巡視の作業手間を減らす試みも始まっています。
- ネットの穴や裾浮き等の点検は、ネット際を歩いて目で見て確認しましょう。
- 見回りには補修糸、アンカー、ハンマー等を携行しましょう。



獣害防止柵が破損して植栽木が食害に遭ったら、柵の補修、補植を検討しましょう。

- 機能を失った獣害防止柵の補修及び植栽木の補植は、あいち森と緑づくり事業等の助成を受けられる場合があります。
- 被害を見つけたら、管轄の県機関へ御相談ください。（裏表紙参照）
- いち早く被害を見つけ、すぐに直すことが重要です。



動物の絡まりによる破損



倒木による破損



食害による植栽木の枯損

- 補修は、①原因（倒木・土砂）を取り除く、②支柱を立て直す、③ネットを付け直すという手順で行います。
- 設置時に残った資材は保管しておき、補修に使いましょう。その後の管理者が誰かを決めておき、管理者が森林所有者なら、残った資材を渡しておきましょう。
- ネットの穴は資材購入時の補修糸で縫いましょう。
- 裾が浮いている場合はアンカーを打ち直し、ロープが弛んでいる場合は支柱キャップにロープを巻き付け、弛みを解消しましょう。

倒木の除去



ネットの穴の補修



動物が引っ掛かったら安全を確認し、取り外します。



6.維持管理



獣道には対策が必要です。

- 動物は移動の際に獣道に執着すると言われ、獣道上の獣害防止柵の破損事例も多くあります。
- 獣道を見つけたら、枝条等を積み、封鎖することが有効です。
- 地元猟友会等に依頼して、被害をもたらす個体を捕獲することも効果的です。



獣道上の破損



枝条による獣道の封鎖



単木ガードで保護している苗は、こまめに樹形のチェックをしましょう。

- 単木ガードでは、網目から幹の先端が出たり、筒の中で苗が巻いたり、筒が傾いたりする問題が生じた際には、樹形に異常が出る前に修正しましょう。
- ヒノキは筒内で曲がりやすいので、特に頻繁な点検・管理が必要です。
- 単木ガードの中に雑草やつるが繁茂した場合は、早い段階で取り除きましょう。

筒内で曲がったスギ苗



筒内に広葉樹が繁茂したスギ苗



筒から頂芽が出て、再度中に入ったスギ苗



筒内で曲がったヒノキ苗



7. 現場の声

平成30年度に実施した現地研修会において、その参加者【県内森林組合・林業事業体】から聞き取りました。

獣害防止柵設置の準備

- 資材を運んで貰う場合は、測量図に「どこに・どの資材を・どのくらいの数を運ぶか」を書いて指示をする。
- 斜面の斜距離から必要な資材の量を割り出しておく。
- 資材は、多めに注文しておく。現場の起伏などにより、測量結果から割り出した量よりも資材が多く必要になる。また、補修にも資材が必要となる。
- スカートネットの幅を考慮して設置計画を考える。
- 今後の管理・保育を考えて、出入口を設置する。
- 周囲や邪魔になる枯れ木はあらかじめ除去する。後に倒木の被害が生じる恐れがある。

獣害防止柵設置時の注意

- 土が流れているところは避けた方がよい。
- ネットを鋭角に張るとスカートが張りにくいので、鈍角に張るとよい。
- ネットの張り具合を確かめながら順次張っていく。
- 獣害対策ネットの下部からシカが潜り込む被害が多くみられるため、地面とネットに隙間が出来ないように設置する。
- なるべく谷を越えないように設置する方がよい。

獣害防止柵の管理

- 台風、大雨、大雪の後は点検を行う。ドローンの活用により点検を省力化できる。
- 秋～春先は食害が多くなるので、見回りを多くした方がよい。
- 獣害対策ネットの破損が認められた際には、迅速に修繕を行う。
- シカに穴を開けられた所では、再び被害が出る可能性が高いので、ネットを補強するとよい。

参考

(1) 参考となるインターネット情報

愛知県 農林基盤局 林務部 林務課

愛知県の森林に関する各種計画、補助制度に関する情報、その他林業関連施策について掲載しています。

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/>



シカ情報マップ

シカの目撃情報や被害情報をスマートフォン等で報告し、地図上に表示するシステムです。情報はリアルタイムで地図上に更新され、過去との比較も可能です。

URL <https://shikadoko.animalenq.jp/g23028>



第二種特定鳥獣管理計画（愛知県環境局）

カモシカ、ニホンジカ、イノシシの生息状況（分布域）を確認することができます。

愛知県環境局HP内

トップページ > 自然環境情報 > 野生動植物 > 野生鳥獣に関する計画

URL <https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>



(2) 参考となる文献資料

獣害対策について参考となる文献・技術資料の例を紹介します。

インターネット、または愛知県農林基盤局林務部林務課にて閲覧できます。

・獣害防止ネットの手引き（愛知県・平成30年3月）

(3) 出入口固定の便利アイテム：針金を入れた樹脂製チューブ



針金（径3.0mm）



樹脂製チューブ



設置状況

- ・通常使用するロープ等では、縛る、解く手間がかかります。
- ・左の資材は、支柱に巻き付けるだけで強く固定でき、開閉作業が大幅に楽になります。

問合せ窓口一覧

県機関

機関名	連絡先	所管エリア
農林基盤局 林務部 林務課	052-954-6444 (直)	名古屋市
尾張農林水産事務所 林務課	052-961-1689 (直)	瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、愛知郡
知多農林水産事務所 林務課	0569-21-8111 (代)	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡
西三河農林水産事務所 林務課	0564-27-2731 (直)	岡崎市、刈谷市、西尾市、額田郡
豊田加茂農林水産事務所 林務課	0565-32-7369 (直)	豊田市、みよし市
豊田加茂農林水産事務所 森林整備課	0565-62-0501 (直)	豊田市、みよし市
新城設楽農林水産事務所 林業振興課	0536-62-0547 (直)	北設楽郡
新城設楽農林水産事務所 新城林務課	0536-24-1006 (直)	新城市
東三河農林水産事務所 林務課	0532-35-6175 (直)	豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市
森林・林業技術センター	0536-34-0321 (代)	

循環型林業技術ガイドライン 獣害対策版

令和4年3月 発行

愛知県

(農林基盤局 林務部 林務課)

〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL. 052-954-6444 Fax. 052-954-6936

本書の内容を許可なく複製・転載することを禁じます